



西山田保育園民営化通信

第12号

本年4月から引継ぎ保育を行ってきた担当職員のうち、元園長を除く5名は9月末で引継ぎ保育を終了しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、三者懇談会等で直接お話をする機会がございませんでしたので、高位元園長から引継ぎ保育について現状報告を、また担当職員からは引継ぎ保育についての振り返りを行います。社会福祉法人耕心会からは報告をいただきましたので、その内容をお知らせいたします。

引継ぎ保育についての現状報告

高位元園長(引継ぎ期間1年)

今年度、引継ぎ職員は、看護師、用務員1名が1か月、保育士1名が3か月、保育士2名が6か月、元園長が1年引き継ぎに残っています。

昨年度、1年間の合同保育を経て、4月から社会福祉法人耕心会西山田保育園がスタートしました。新型コロナウイルス感染症が終息しない中、感染症対策を取りながら、子供達が楽しく安心して保育園で過ごせる様に、耕心会の先生方と意見を出し合い保育を確認してきました。子供達が大きな不安なくスタートすることができたのは、昨年度の合同保育の中で、耕心会の先生方と一緒に過ごし、4月から知っている先生方がいらっしゃることで、安心して生活し、信頼関係ができたからだと思います。少し不安な様子の子供達は、公立の引継ぎ職員や残ってくださったパート職員やアルバイト職員が受けとめることで、安心に繋がったと思います。

日常の保育では、公立が特に大事にしてきた「リズム」「ごっこあそび」「描画」等を、耕心会の先生方にしっかりお伝えし、相談にのり、アドバイスをしてきました。行事では、5歳児クラスのデイキャンプや運動会の取り組みに向けて、ねらいや内容、取り組み方など会議の中で、確認しながら進めていただきました。子供達は、昨年度の取り組みに期待とあこがれを持ち、自分たちも「やりたい」「できるようになりたい」と目標をもって、がんばりました。引き継ぎを共有することの大切さを実感しています。また、1年や月の保育計画を作成する会議に同席し、大切にしたいことや日々子供達が楽しく過ごすために、何が必要かを一緒に考えてきました。引継ぎ職員を含め、様々な形で保育運営に関わってきた半年間はとても有意義でした。

これまで、子供達が毎日楽しく過ごすことができたのは、保護者の皆様の温かいご協力と耕心会の努力のおかげです。

後半の引き継ぎは元園長1人になりますが、散歩や秋冬の保育、行事等、公立の保育で大切にしてきたことを引き続きお伝えしていきます。

最後に、新型コロナウイルス感染症対策で、運動会当日は引継ぎ職員のみ参加となりました。

引継ぎ保育についての振り返り

末友保育士(引継ぎ期間6か月)

6か月間、西山田保育園で引継ぎ保育をさせて頂きました。乳児クラスの担任になられた先生方は3か月間合同保育を経験された先生方が担任になりましたが、その方とアルバイトで残った方以外は4月から新しく勤務された先生方でした。そのために、新年度保育が始められるように、おもちゃをはじめ、お部屋の設定や物の配置等の相談、助言からスタートしました。

引継ぎ職員がいることで子供達と保護者の方が安心して過ごせることを一番に考え、子供達との関係を大切にしながら、保育に入らせてもらいました。保護者の方とは時々、時差勤務をしながらお会いした時に声をかけさせて頂きました。

保育の引継ぎでは主に0・1・2歳クラスで新型コロナウイルス感染症の対応も考えながら、保育の相談や助言を行いました。2回睡眠やグループ保育は戸惑っておられたので特に丁寧に伝えました。一人一人の姿を見ながら自我を受け止め、子供の気持ちを大切にしながら関わったり、成長発達を促すための生活作りと遊びの手立てを具体的に伝えました。環境整備はそのクラスの子供の行動を予測し、危険のない様に一緒に考えました。

西山田保育園で大事にしてきた、リズム・ごっこ・描画については、実際に保育をする中で具体的な手立てを伝え、必要な資料もお渡ししています。

耕心会の先生方と子供達の関係もついてきましたので、後半は保育を見守りました。先生方同士の連携もスムーズになってきています。

これから楽しい保育をされると思います。また成長した子供達に会いに来させて下さい。

坂本保育士(引継ぎ期間6か月)

6か月間幼児クラスに入り、西山田保育園がしてきた保育を伝えてきました。

年度当初は不安な姿があった子供達も、昨年度から来られていた耕心会の先生方中心に関係を広げ、日々楽しく過ごす中で安心して過ごせるようになってきました。昨年度に楽しんでいた歌や遊びを今年度も取り入れていただいたことも、子供達の安心感につながったと思います。

6月中旬からは、5歳児クラスのデイキャンプや運動会の取り組みに大きく関わらせていただきました。今年度はコロナ禍のために例年とは同じようにはできないけれど、子供達が期待している5歳児ならではの取り組みをどのように取り組むのか、子供達が主体的に取り組んで達成感をもつことができるためにどのように保育を組み立てたらいいのか、またごっこの世界の考え方など、先生方と日々細かく話をしてきました。子供達の気持ちを大切にする保育を考えてくださったからこそ、デイキャンプ当日はもちろん、当日までの取り組み期間もほぼ例年と変わらない取り組みができ、子供達の良い表情をたくさん見ることができたと感じています。

保護者の方とは、子供達の成長やかわいい姿をお話することができ、嬉しかったです。とはいえ、十分でなかったとも思います。申し訳なかったです。今後は離れたところからではありますが、子供達のこと、皆さんのことを応援しています。今までありがとうございました。

藤本保育士(引継ぎ期間3か月)

私は3か月間、保育の引継ぎを行いました。年度当初から新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの保育となりましたが、4月5月は3歳児クラスを中心に保育をしながら状況に合わせて様々なクラスに入り、6月は0歳児クラス中心に入りました。

日々の保育の中で今まで大切にしてきたことや各年令の子供達の発達や個々の姿に合わせた対応や配慮の仕方など、耕心会の先生方とお互いに気付いたことを伝え合い、一緒に考えてきました。

耕心会の先生方からも積極的に疑問に思ったことを出して下さり、今までしてきたことをアドバイスしたり、新しいやり方を検討したりすることができました。また、子供達の成長を喜び合えたことも嬉しく思っていました。

新型コロナウイルス感染症対策の中、十分に引き継ぎができないまま3ヶ月を終えてしまったように感じますが、子供達はいつも笑顔を見せてくれ、保護者の方々もあたたかく見守ってくださり、また、声をかけていただき、本当にありがとうございました。

これからも新しい西山田保育園が、子供達も大人も安心して楽しく過ごせる保育園になっていくことを祈っています。

市川看護師(引継ぎ期間1か月)

4月の引継ぎ保育期間の1か月間は、あっという間に終わりましたが、田川看護師とは1月から4月の4か月間、西山田保育園の保健業務の引き継ぎを行うことが出来ました。

新型コロナウイルス対応は、誰にとっても初めてのことで、感染症対策の基本を押さえつつ悩みながらの対応となっています。そのため例年とは違うことも多いですが、子供達が笑顔で過ごせるように保健職として一緒に考えていただけたらいいなと思います。

脇田用務員(引継ぎ期間1か月)

民営化に向けて保護者の方々は、ご不安だったと思います。子供達が「給食おいしい!!」といつも声をかけてくれたことは忘れません。お別れするのは、とても寂しいです。今まで、ありがとうございました。



社会福祉法人耕心会から引継ぎ保育についての報告をいただきました。

社会福祉法人耕心会西山田保育園からの報告

西山田保育園 馬込園長

異例すくめの新型コロナウイルス感染拡大中でのスタートとなりました。登園自粛により、園児たちとも会えないなかで、感染と戦いながら保育園を運営していかなければなりませんでした。

移管スタートで、緊張している私たち職員一同を素直に受け入れてくれた子どもたちに、温かく迎え入れていただいた保護者のみなさまに、勇気と元気をいただきました。

いただいた勇気と元気をもとに「元気で明るく」をモットーに取り組みました。もちろん、至らぬところもありましたが、そんな時、公立の先生方からのアドバイスもありがたいものでした。

社会も一時期に比べると、落ち着きを取り戻し、行事も行えるようになりました。行事に取り組むことによって、子どもたちとの関係が深まるのはもちろん、職員同士のチームワークも以前にも増してとれるようになったように思います。

引き続き、公立園が大切にしてくられたことを大事にしながら、よりよい保育園の運営を務めてまいります。

西山田保育園 神村主任保育士

まずは、子どもと仲良く楽しく毎日を過ごすことと、子どもを知ることを大切に4月を迎えました。園のことはもちろん、子どもの名前も知らない職員も多い中でありましたが、保護者の方々には温かく受け入れていただき感謝しております。

昨年度からの引継ぎや残って下さっている公立園の先生方と共に、これまで積み重ねてきた保育の継続を第一にどうしていこうかと話し合ってきました。

残念ながらできない行事も多かったのですが、できないからとなくすのではなく、代わりに何ができるか、どうやったらできるかなどを考えてきました。そこでは、保護者の方のご理解とご協力があったることだったと思います。

保育では、発達をおさえながらも、子どもの「やってみたい」という意欲を引き出し、自分たちで考えて挑戦したり、解決できたりするよう見守ることを大切にしています。

引き続きこれまでの積み重ねと、あらたな子どもの興味関心に目を向けている保育を目指していきたいと思います。

三者懇談会等について

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、三者懇談会は現在開催を控えております。今後、感染状況を見据えて、開催の時期については保護者会役員、耕心会、吹田市の3者で協議をしてまいります。日程が決まりましたら、保護者の皆様に御報告いたします。

民営化に関するご意見、ご要望は下記までお願いします。

【お問合せ】

吹田市児童部子育て政策室 民営化担当
Tel:06-6384-3104 Fax:06-6368-7349
E-mail:hoiku_sesk@city.suita.osaka.jp



西山田保育園の
民営化について
のWebサイトは
こちらです

